

MEIJI  
GAKUIN  
UNIVERSITY



明治学院大学

マスコミ関係各位

2019年2月1日

## 明治学院大学国際平和研究所主催研究会 板門店体制とはなにか 朝鮮戦争の克服と東アジアの平和のために

明治学院大学国際平和研究所は、韓国より社会学者の金學載氏(ソウル大学校統一平和研究院 HK 教授)をお招きし、研究会「板門店体制とはなにか:朝鮮戦争の克服と東アジアの平和のために」を開催いたします。

金學載氏は朝鮮半島の分断と平和体制についての研究を進めてこられ、2015年には『板門店体制の起源:朝鮮戦争と自由主義的平和プロジェクト』を刊行されました。停戦協定により形成された不安定で流動的な軍事停戦体制を「板門店体制」と名付け、これを「失敗した平和プロジェクト」として把握する金學載氏の研究は、東アジアの平和への道筋をさぐる上での貴重な示唆を与えてくれるものです。

ディスカッサントとして、国際政治学者で明治学院大学国際平和研究所客員所員の武者小路公秀氏を迎え、朝鮮戦争の克服のための条件を議論します。

これからの東アジアの平和のための課題を探る議論の場にご参加いただきたく、ぜひこの研究会の告知および取材をお願い申し上げます。

### 明治学院大学国際平和研究所主催研究会 板門店体制とはなにか ～朝鮮戦争の克服と東アジアの平和のために

日時: 2019年2月16日(土) 14:00~17:30

会場: 明治学院大学 白金キャンパス本館 10階大会議場 (東京都港区白金台 1-2-37)

申込み: 不要 参加費: 無料 定員: 約60名

言語: 日本語・朝鮮語(通訳あり)

報告者: 金學載(キム・ハクチェ)氏 (ソウル大学校統一平和研究院 HK 教授)

ソウル大学校で社会学の博士学位を取得後、ドイツでの研究員を経て現職。朝鮮半島の分断と平和体制の研究者で、主要著書に『板門店体制の起源』、「三・一運動の一世紀:20世紀のヴィジョンと朝鮮半島の平和」(共著『三・一運動とロウソク』[近刊]等)がある。

ディスカッサント: 武者小路公秀(むしゃこうじ・きんひで)氏 (明治学院大学国際平和研究所客員所員)

国際政治学者。専門は国際政治学、平和学。学習院大学、上智大学、国連大学(副学長)を経て1989-1998年本学教授。その後、フェリス女学院大学教授等。主要著書に『転換期の国際政治』(岩波書店、1996年)、『人間安全保障論序説』(国際書院、2003年)等がある。

主催: 明治学院大学 国際平和研究所

お問合せ先: 明治学院大学 国際平和研究所 Tel:03-5421-5652

取材のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当:濱口・圓道

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 Tel:03-5421-5165(直通)

Fax:03-5421-5185 koho@mguad.meijigakuin.ac.jp

<https://www.meijigakuin.ac.jp/>